

第1学年〇組 道徳科学習指導案

- 1 教材名 「山に来る資格がない」(出典:「新しい道徳1」 東京書籍)
(内容項目A 節度、節制)

2 題材について

(1) 教材について

本教材は、学校行事の登山の際に、体力に自信のある5人が、「用意でき次第ねむること。」という先生の言葉に納得せず、夜更かしをしてしまう。翌朝、やっとの思いで山頂にたどり着くが、頂上からの素晴らしい眺めも楽しめずに何度も転びながら下山する。疲れ切って休んでいるとき、班長から「山に来る資格がない。」と言われてしまう内容のものである。

教材の中のトランプ遊びを始めた場面を読み、5人の行動について考え、自分ならどうするかを考えつつも、5人の思いや、心の甘さや周りに流される弱さを人間が持っていることを認識させる。そして、集団行動の中で節度と節制に心掛ける意味と自制心について理解させる題材である。

(2) 生徒の実態について

本学級の生徒は、非常に穏やかであり、何事も黙々と取り組むことができる。これまで様々な活動や行事の意義・目的を理解して意欲的に活動に参加することができていた。しかし、時にはその場の雰囲気によって流されてしまい、見通しをもって行動できない場面が何度か見られた。3分前着席後、集中して自習に励む仲間がいるにも関わらず、大きな声での私語や自分本位の行動が見られたり、私語なし清掃であるにも関わらず、友人と談笑してしまったりするなど、周囲や仲間を顧みない行動・行為が見られた。また、全体的に仲の良いクラスであるが、友達とルールを無視した同調行動をとってしまうことや、「ちょっとだけなら」という気持ちで、善悪について正しい判断ができなくなることもあった。

(3) 指導について

中学校生活では、生徒が自分勝手に判断して行動してしまうことや、自分にとって都合の良い理由を作ってしまうことが原因で起きるトラブルが多い。特に解放感が強くなってしまいう休み時間や校外学習などの行事では、自分勝手な判断が全体の雰囲気を壊したり、集団の居心地の良さや安全に影響を及ぼしたりするだけでなく、最悪の場合、命に関わる問題にもなりかねない。

今回は、事前アンケートの結果を活用しながら、楽しさのあまり、遅く寝る理由をあれこれ考えている生徒たちの言葉や考え、その後の展開などを踏まえた上で、自分なら遊ぶか、寝るかを、5人の立場になってその理由や心情を踏まえて考えさせながら、隣同士・班・全体で議論させる。その後、集団の中で生きていくのに必要な「自制心」の意味となぜそれが重要なのかを理解させつつ、実際に5人の会話をロールプレイする活動を通して、体験的に学び、より深い道徳的価値観の醸成、実践力の伸長に導いていきたい。

3 本時の学習

(1) 本時の目標

物語を通して、自分ならどうするかを実際にロールプレイを行った上で、節度をもって節制に心掛け、周囲への思いやりを踏まえた、望ましい生活習慣について考え、議論し、身に付けようとする態度を養う。

(2) 本時における主体的・対話的で深い学びの実践

ロールプレイを行った後、望ましい考え方や言動について自分の考えを議論で深めるなかで、主体的・対話的な学びへと導いていく。そして、それらの活動を通して、より相手を思いやった、節度あるコミュニケーションを行うにはどうしたらよいのかを意欲的に自ら考えていけるよう促していく。

(3) 展開

(分)	○学習内容 ・ 学習活動 【主・対・深】	○指導上の留意点 ☆評価の視点（評価方法）
導入 (5)	<p>○本時の目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事前に行ったアンケート結果を聞く。 ・ 教材の大まかな内容を理解する。 	<p>○小学校の時の宿泊学習を想起させ、物語にできるだけ近い心情に寄せていく。</p>
展開 (40)	<p>○内容の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教師が読む教科書の本文を聞く。 ・ 5人の行動についての感想を書く。 ・ 隣同士で意見を交換する（口頭による）【対】 <p>○あなたならどうする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4人班となり、自分が5人のメンバーならどのように会話するかをロールプレイする。 <p>【主・対】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分はどのようなことを意識しながらロールプレイをしたのかを班内で意見交換した後、望ましい言動について以下の①～④を繰り返す。 <p>①クラス全体で意見が出る ②出た意見を全体 OR 班内で話し合う ③賛成論・反対論が出る ④全体で議論する OR 班内で話し合う</p> <p>【対・深】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 議論を踏まえ、班長・夜更かししたい班員それぞれの気持ちを理解した上で、どのような考えを持って言動した方がいいのかをワークシートに記述する。 <p>○今後の自分を考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日常生活における同じ類の状況を考えさせる。 	<p>○思ったことを素直に書かせるようにする。</p> <p>○スムーズに進行させるため、感想を言う、聞くのみに限定させる。</p> <p>○自分事として捉えさせる。</p> <p>○出てきた意見を理解し、受容しつつ、全体の議論が深まるように教師が全体に返していく。</p> <p>○以下の説明後、ワークシートを記入させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 班長が「山に来る資格がない」と言った意味と 思い ・ 夜更かししたい班員の思い ・ みんなが気持ちよく生活するためには自制心 というものが 必要だということ <p>☆両者の思いを理解しつつ、その場にあった節度ある考えをすることができる。</p> <p>（発表・ワークシート）</p> <p>※文章で思いを表現すること等が難しいスローラーナーの生徒のために、まとめる際のキーワードとなるような語句を黒板に記しておく。</p>
終末 (5)	<p>○教師の説話</p> <p>○感想記入</p>	